

「結核」という病気を「存じ」ですか

「結核」とは、人から人へうつる感染症です。結核で恐ろしいのは、自分が感染していることに気が付かず、他の人にうつしてしまうことです。

昔の病気と思われるがちですが、結核は現代の病気。ひとごとではありません。今でも、年間約2万人(1日当たり約58人)が新たに発病しており、約2千人(1日当たり約6人)が命を落としていく日本の重大な感染症です。

■こんなときは病院へ

結核は、菌に感染しても必ず発病するわけではなく、注意すれば、それほど怖がる必要はありません。

発病した場合の初期症状は、風邪と似ており、次のような症状が出ます。

- ① せきが2週間以上続く。
- ② タンが出る。
- ③ 体がだるい。
- ④ 急に体重が減る。

このような症状が見られたら、呼吸器内科などの医療機関

を受診し、早期発見に努めましょう。早期発見は、本人の重症化を防ぐためだけでなく、周りへの感染の拡大を防ぐためにも重要です。

■結核の予防と治療

結核の感染予防のために、次のことを心掛けましょう。

- ① 睡眠時間を十分に取る。
- ② 適度に運動する。
- ③ バランスのよい食事を取る。
- ④ たばこを吸わない。

抵抗力の弱い赤ちゃんは、結核に感染すると重症化しやすく、生命に関わることがあります。予防するためには、BCG接種が有効です。生後5〜8カ月の間に接種しましょう。

現在、結核の治療法は、抗結核薬という薬を6カ月間、毎日服用する必要があります。症状が消えたからといって、途中で服薬を止めてしまうと、治らないだけでなく、薬が効かない「多剤耐性菌」になることもあります。医師の指示に従い、服用を続けましょう。



子育てNEWS

地域福祉課児童福祉係 ☎・内線1101

一時的に子どもを預ける必要がある時は 子育て短期支援事業の活用を

市内在住の保護者が、疾病・出産・恒常的な夜間の仕事・休日出勤などの理由で、お子さんの養育が困難となった時、養護施設で一定期間、養育および保護を行い、子育てを支援する「子育て短期支援事業」があります。

- ◎事業の内容(各事業の費用は、世帯の課税状況などによって異なります)
- 短期入所生活援助(ショートステイ)
 - ▶期間 7日間(6泊7日)以内
 - ▶対象 入院などで、家庭での養育が一時的に困難になった家庭の児童
 - ▶費用 1日当たり最大5,350円
- 夜間養護(トワイライトステイ)
 - ▶期間 1カ月以内(平日)
 - ▶対象 保護者が恒常的に夜間、深夜にわたる仕事に就いている家庭の小学校低学年の児童

- ▶費用 1日当たり最大1,500円
- 休日預かり事業
 - ▶期間 1カ月以内(休日)
 - ▶対象 保護者が病気や仕事などの理由で、日曜日および祝日に養育が困難になった児童
 - ▶費用 1日当たり最大1,350円

◎実施施設

名称	所在地	電話番号
和光学園	盛岡市青山1-25-2	019-647-2143
青雲荘	盛岡市加賀野4-8-33	019-653-3947
みちのくみどり学園	盛岡市上田字松屋敷11-14	019-662-5656
日赤岩手乳児院	盛岡市中央通1-4-7	019-621-3311
善友乳児院	盛岡市北山1-13-24	019-622-2156

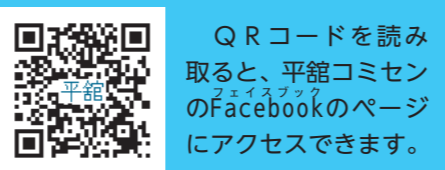
※ 施設の状況によっては、受け入れができない場合がありますので、ご了承ください。

◎申し込み方法 申込書を市役所地域福祉課児童福祉係に提出ください(印鑑が必要です)。

◎必要書類 1月2日以降に市に転入した人は、転入前の市町村から課税証明書を発行してもらい、申込書に添付してください。

コミュニティセンター通信

第12回 平館コミセン ☎74-2040



QRコードを読み取ると、平館コミセンのFacebookのページにアクセスできます。

さまざまな用途の施設を備えています

平館コミセンは、1階に相談室、加工室(調理)があり、2階には講義室、研修室、和室、そして、別棟に体育館があります。

その他、ふれあい広場のテニスコート2面(全天候)と相撲練習場を備え、多くの市民の皆さんが利用しています。特にテニスコートは、照明があるため、毎日利用される人気の施設です。

地域の触れ合い促す事業を多数開催

公民館からコミュニティセンターに変わり、1年が経とうとしています。平館コミセンの学習事業では、少年、成人、老春大学、世代交流などを行いました。

成人事業の多くは、日中働いている皆さんが参加できるように夜も実施し、参加者から好評をいただきました。

また、芸術・文化事業の「平館ふれあいまつり」では、地域の皆さんや各サークルをはじめ、保育

園児や小・中・高校生らの作品展示、舞台発表、模擬店出店、ゲームなどを行い、地域の交流を図りました。

世代間交流では、1月8日に「ミズキ団子作り」を行い、ミズキのお飾りを持って、金融機関や福祉施設などを訪問しました。



団子をミズキに付けました

体育事業では、運動会、ソフトボール、野球、ビニールバレー(リーグ戦など)、ローンボウルズ(ボウリングの原形となった競技)を行いました。特に運動会は、27年度で70回目を迎える伝統行事です。平館地域の皆さん、ぜひ、ご参加ください。



地域一体となって運動会を開催(平成26年8月24日)



子ども会やコミセンでも南米料理教室を開催

八幡平市へやってきて、初めての冬です！人生で初めてホワイトアウトの中で運転をしたり、朝の積雪で車が全く前に進まなかったり、水でコケたり、雪に埋もれたり……。と、いろいろありましたが、雪らしい雪も降らず、ぼんやりとした関東の冬よりも、スツと背筋が伸びるような空気がやまきストープのぬくも

り、パウダースノーが舞うこの冬が好きです。ここ最近、同世代の方々と八幡平市での暮らしについて話し合う機会がありました。皆共通して言うせりふのひとつが、「この自然は本当にいいよね」ということ。私も春夏秋冬過ごしてきた、あらためてそう思います。恵まれた自然環境を生かしながら、ここならではの暮らしのアイデアや活動を提案していきたいという思いを、次年度は具体的に表現していきたいです。その第一歩として、未来や思い、その他何でも気軽に話し合えるような開かれた場を春からつくっていく予定です。……その前に、収穫した大豆(1キロまいたら60キロに!)でみその仕込みをしなければ！春が待ち遠しいです。

地域おこし協力隊だより(13) 今月の担当: 中村明子